



SIDEKICK インストールガイド

はじめに

このガイドに記載する SIDEKICK のインストール手順は、GENESYS Server 2025 がインストールされたマシンでの操作を想定しています。GENESYS Server 2025 のインストールについては、GENESYS インストールガイド

(https://vitechcorp.com/support/documentation/genesys/2025/GENESYS2025_インストールガイド.pdf)をご参照ください。

GENESYS および SIDEKICK のインストール、ライセンスに関してのお問い合わせは、図研サポート窓口(<https://support.zuken.co.jp/global/>)までお願いします。

SIDEKICK 構成要素

1. 下記システム要件に対応するマシン
2. インターネット インフォメーション サービス (IIS) 10
3. GENESYS Server 2025
 - a. [SQL Server Express 2022](#)
 - i. SQL Server 2019(15.0)以降を推奨します。
 - b. [.NET Framework 4.8](#)
 - i. Windows のバージョンにより手動インストールが必要な場合があります。
4. GENESYS 2025 および SIDEKICK の有効なライセンス
 - a. SIDEKICK のライセンスは GENESYS Server のライセンスに組み込まれています。

SIDEKICK 用マシン システム要件

- Windows Server 2025, Windows Server 2022, Windows Server 2019, Windows Server 2016, Windows 11
- 2 GHz プロセッサ。マルチコアまたはマルチプロセッサを強く推奨します。
 - o 4 コア CPU(vCPU)
- 16 GB RAM
- インストール先ストレージ容量:
 - o 200 MB
 - o GENESYS 向けに別途ストレージ容量が必要となります。

クライアントブラウザ要件(Chromium ベース)

- Chrome/Edge v100 以降

Sentinel License Manager によるライセンス認証

GENESYS Server 2025 のインストール時点で SIDEKICK ライセンスが適用されていない場合、GENESYS ライセンスを更新して SIDEKICK ライセンスを追加する必要があります。

既存の GENESYS ライセンスの更新

1. GENESYS Server 2025 がインストールされたマシンで、Sentinel Admin Control Center (<http://localhost:1947>) を開きます。
2. [Sentinel Keys]ページを開き、登録されているプロダクトキーを確認します。[Actions]列から[C2V]ボタンをクリックして、C2V ファイルを取得します。
※ リストにプロダクトキーが複数表示されている場合は、[Product]ボタンをクリックして紐づいているプロダクトを確認の上、更新したいプロダクトキーの C2V ファイルを取得してください。

Sentinel Admin Control Center

Sentinel Keys Host Name [REDACTED]

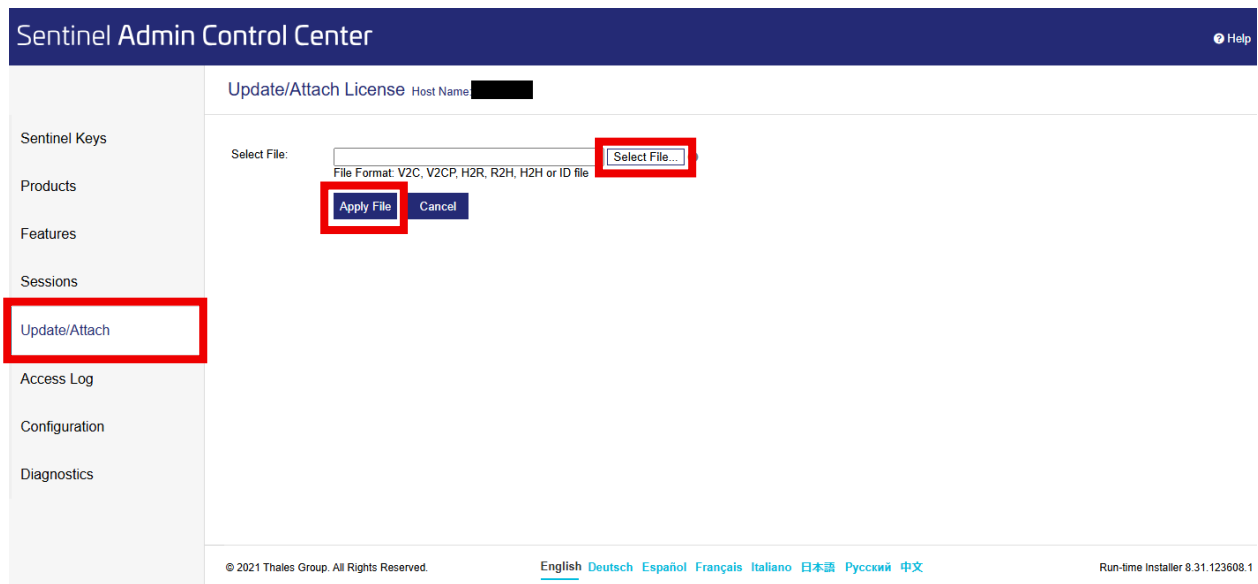
Sentinel Keys

Location	Vendor	Key ID	Key Type	Configuration	Version	Sessions	Actions
Local	82194 (82194)	[REDACTED]	HASP SL AdminMode Rehostable		8.34	1	Products Features Sessions Certificates C2V
Local	82194 (82194)	[REDACTED]	HASP SL AdminMode Rehostable		8.34	2	Products Features Sessions Certificates C2V

© 2021 Thales Group. All Rights Reserved. English Deutsch Español Français Italiano 日本語 Русский 中文 Run-time Installer 8.31.123608.1

3. 取得した C2V を図研 GENESYS ライセンス発行窓口 (zi_shipping@jp.zuken.com) に送付し、ライセンス更新を依頼します。
4. V2C ファイルまたは V2CP ファイルが図研 GENESYS ライセンス発行窓口からメールで送付されます。

5. Sentinel Admin Control Center の[Update/Attach]ページを開きます。[Select File...]ボタンをクリックし、送付された V2C ファイルまたは V2CP ファイルを選択します。[Apply File]ボタンをクリックすると、ライセンスが更新されます。



ライセンス認証の確認

Sentinel Admin Control Center の[Features]ページで、利用可能なライセンスの一覧が確認できます。SIDEKICK のライセンスは GENESYS Viewer CAL および GENESYS Commenter CAL と表示されます。

Vendor	Key ID	Product	Feature	Location	Access	Counting	Logins	Concurrency	Detached	Restrictions	Sessions	Actions
			0	Local	Loc Net Display	Station				Perpetual		Sessions
	44017	GENESYS 2025 Server	21202 GENESYS Client	Local	Loc Display	Login		1		Perpetual		Sessions
	44017	GENESYS 2025 Server	21204 GENESYS Service	Local	Loc Display	Login	1	1		Perpetual	1	Sessions
	44017	GENESYS 2025 Server	21208 GENESYS API	Local	Loc Display	Login				Perpetual		Sessions
	44017	GENESYS 2025 Server	21210 GENESYS Server UCL	Local	Loc Display	Login		10		Perpetual		Sessions
	44017	GENESYS 2025 Server	21212 GENESYS Viewer CAL	Local	Loc Display	Login		10		Perpetual		Sessions
	44017	GENESYS 2025 Server	21214 GENESYS Commenter CAL	Local	Loc Display	Login		10		Perpetual		Sessions

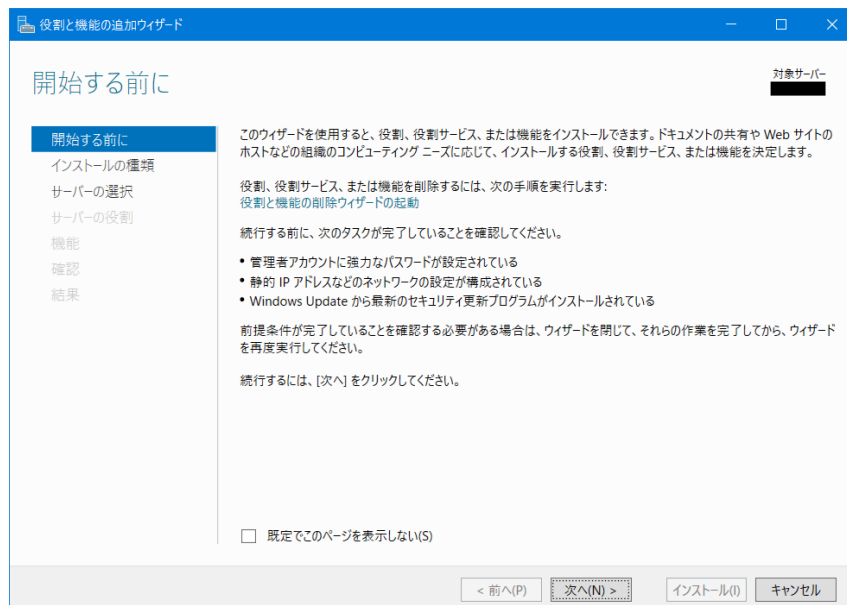
IIS Web Server の設定

IIS 機能の有効化

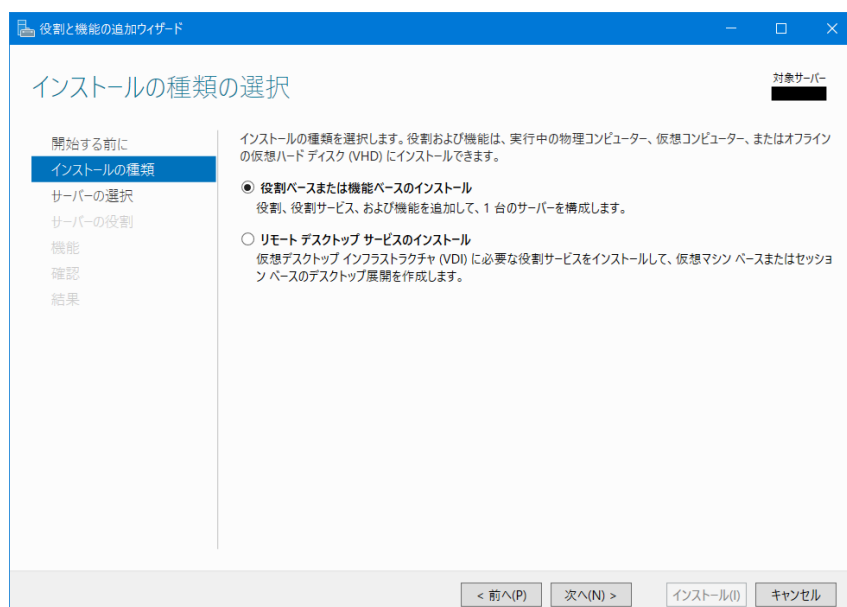
IIS 機能が既に有効化されている場合は、この手順を飛ばして「IIS の設定」に進みます。

Windows Server の場合

1. コントロールパネルから、[プログラム] > [Windows の機能の有効化または無効化]を選択します。
[開始する前に] ページはそのまま[次へ]をクリックします。



2. [役割ベースまたは機能ベースのインストール]を選択して[次へ]。



3. [サーバー プールからサーバーを選択]で、使用中のマシンを選択して[次へ]。

The screenshot shows the 'Add Roles and Features Wizard' window, specifically the 'Select Target Server' step. The left sidebar contains a navigation pane with the following items: '開始する前に' (Before getting started), 'インストールの種類' (Installation type), 'サーバーの選択' (Select server) - which is highlighted, 'サーバーの役割' (Server roles), '機能' (Features), '確認' (Confirmation), and '結果' (Results). The main area is titled '対象サーバーの選択' (Select target server). It contains a section '役割と機能をインストールするサーバーまたは仮想ハード ディスクを選択します。' (Select a server or virtual hard disk to install roles and features on). Below this are two radio buttons: 'サーバー プールからサーバーを選択' (Select server from server pool) - which is selected, and '仮想ハード ディスクから選択' (Select from virtual hard disk). Under the selected option is a 'サーバー プール' (Server pool) section. It includes a 'フィルター:' (Filter) text box and a table. The table has three columns: '名前' (Name), 'IP アドレス' (IP address), and 'オペレーティング システム' (Operating system). One server is listed: 'Microsoft Windows Server 2019 Standard'. Below the table, it says '1 台のコンピューターが見つかりました' (1 computer found). A note at the bottom states: 'このページには、サーバー マネージャーの [サーバーの追加] コマンドを使用して追加された、Windows Server 2012 またはそれ以降のリリースの Windows Server を実行しているサーバーが表示されます。オフライン サーバーや、新たに追加されてデータ収集が完了していないサーバーは表示されません。' (This page displays servers running Windows Server 2012 or later, added using the [Add server] command in the Server Manager. Offline servers or servers that have not yet completed data collection are not displayed). At the bottom of the window are four buttons: '< 前へ(P)' (Previous), '次へ(N) >' (Next) - which is the button to click, 'インストール(I)' (Install), and 'キャンセル' (Cancel).

役割と機能の追加ウィザード

対象サーバーの選択

対象サーバー

開始する前に
インストールの種類
サーバーの選択
サーバーの役割
機能
確認
結果

役割と機能をインストールするサーバーまたは仮想ハード ディスクを選択します。

☒ サーバー プールからサーバーを選択
☐ 仮想ハード ディスクから選択

サーバー プール

フィルター:

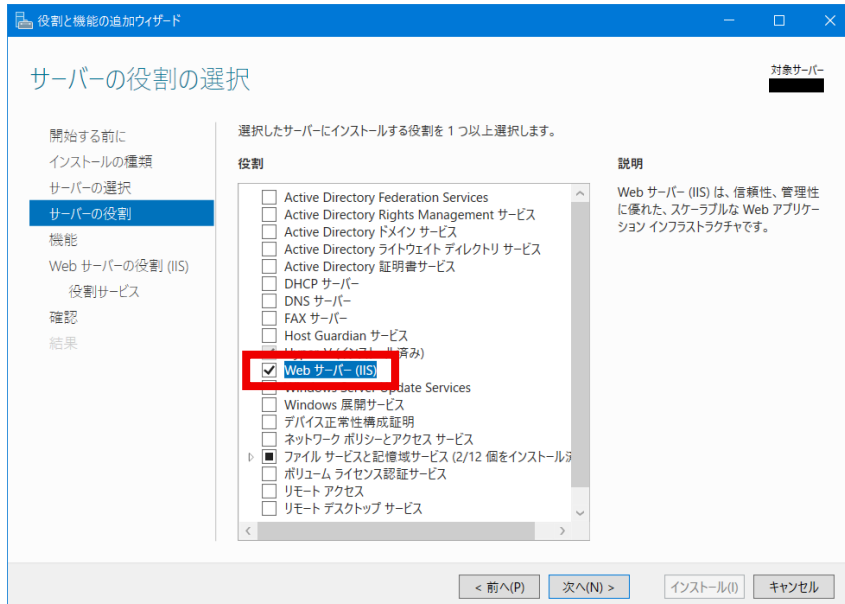
名前	IP アドレス	オペレーティング システム
		Microsoft Windows Server 2019 Standard

1 台のコンピューターが見つかりました

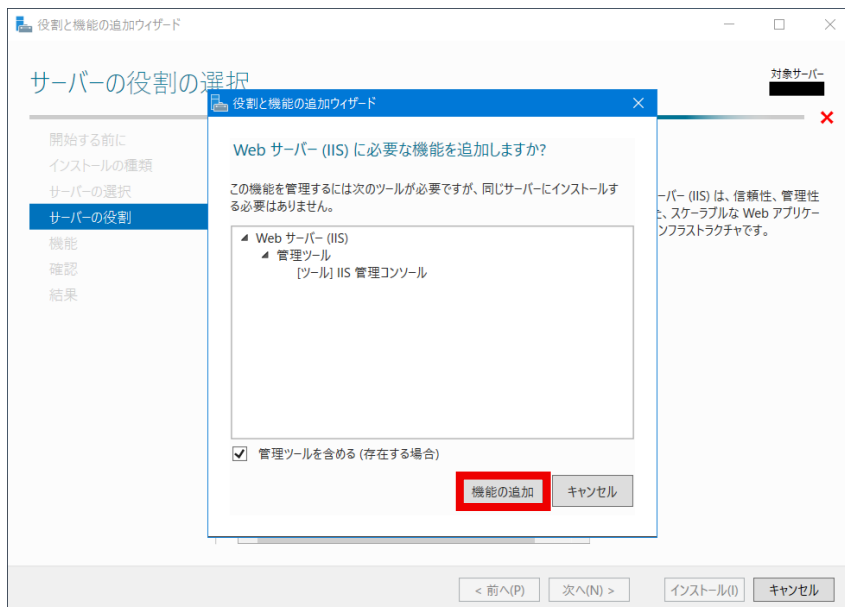
このページには、サーバー マネージャーの [サーバーの追加] コマンドを使用して追加された、Windows Server 2012 またはそれ以降のリリースの Windows Server を実行しているサーバーが表示されます。オフライン サーバーや、新たに追加されてデータ収集が完了していないサーバーは表示されません。

< 前へ(P) 次へ(N) > インストール(I) キャンセル

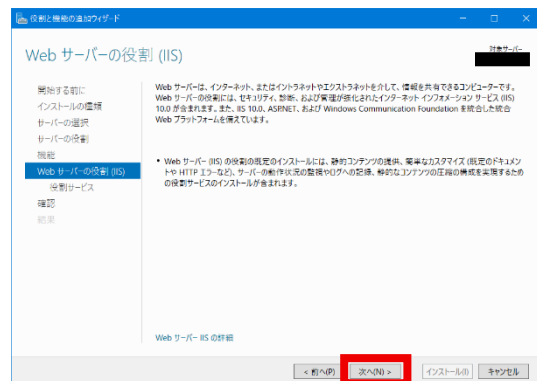
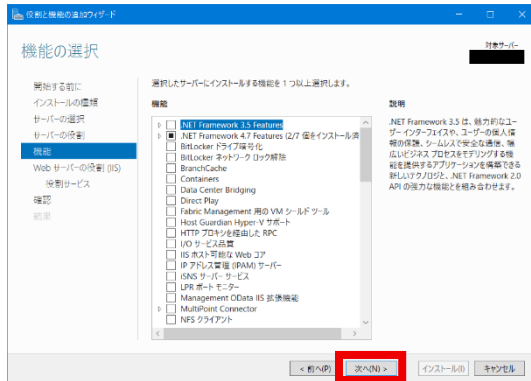
4. [Web サーバー (IIS)]にチェックを入れます。



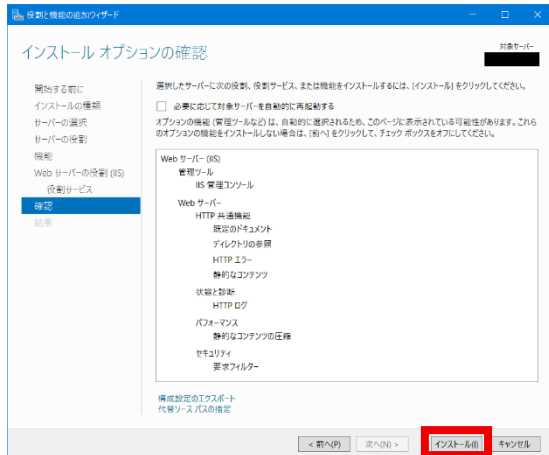
5. 確認ダイアログはそのまま[機能の追加]ボタンをクリックし、元の画面で[次へ]をクリックします。



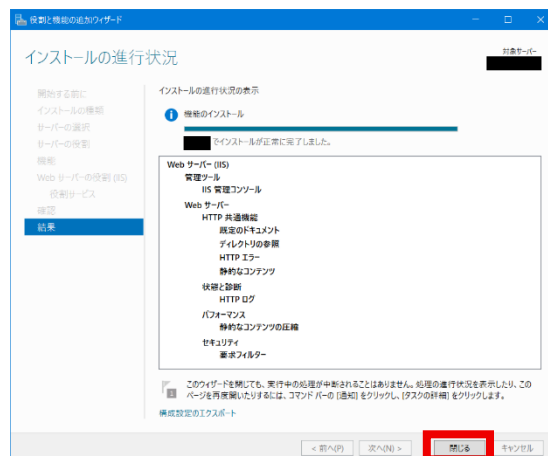
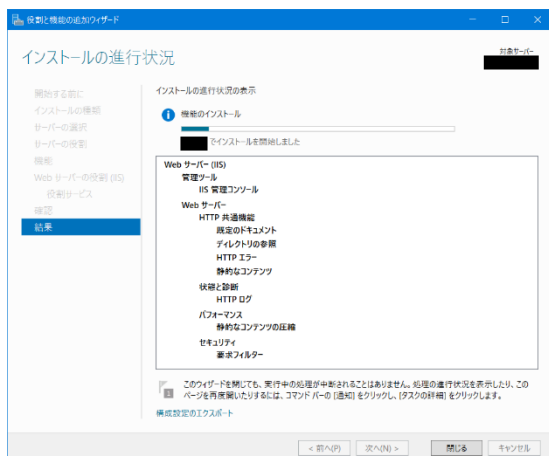
6. [機能の選択]ページ以降は、そのまま[次へ]。



7. [インストール オプションの確認]ページでインストール内容を確認し、[インストール]をクリックします。

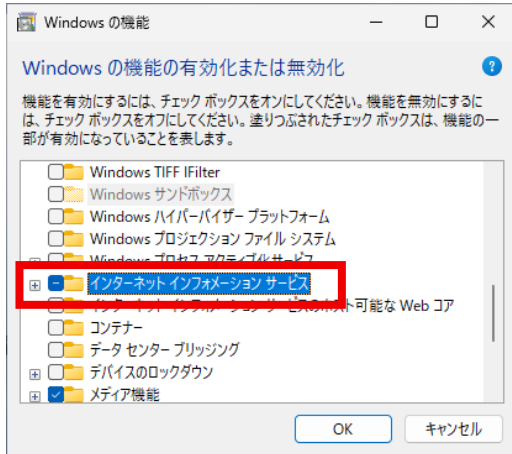


8. インストール完了後、ウィザードを閉じます。



Windows 11 の場合

1. コントロールパネルから、[プログラム] > [Windows の機能の有効化または無効化]を選択します。
2. 機能の一覧から、[インターネット インフォメーション サービス]のチェックを入れ、[OK]ボタンをクリックします。※ 子項目は必要な機能のみが自動で選択されます。

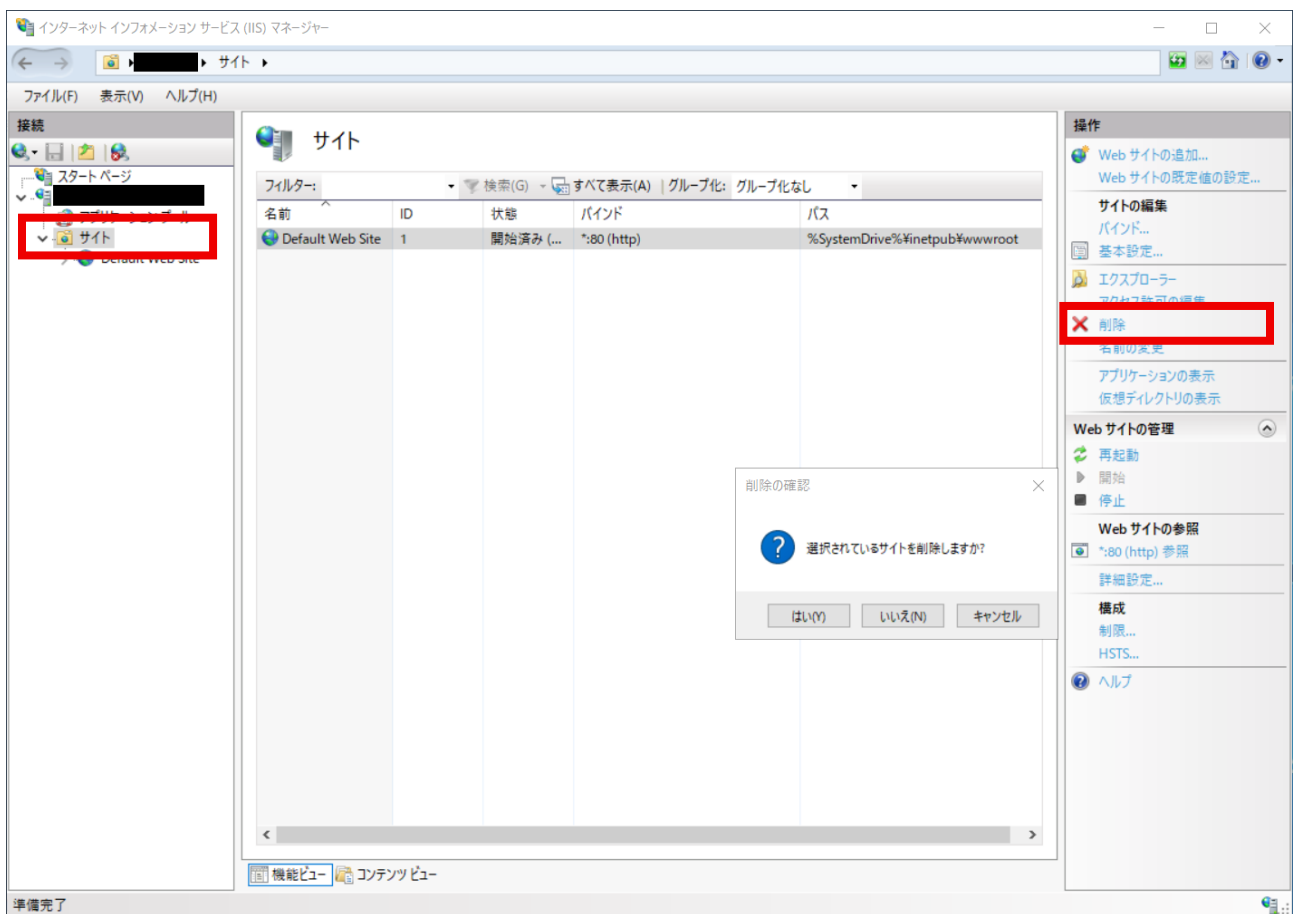


3. インストール完了後、ダイアログを閉じます。

IIS の設定

デフォルトでは、SIDEKICK は 443 ポート(https)を使用する設定でインストールされます。他のサイトで使用している場合は、初期設定でポートを変更する必要があります。

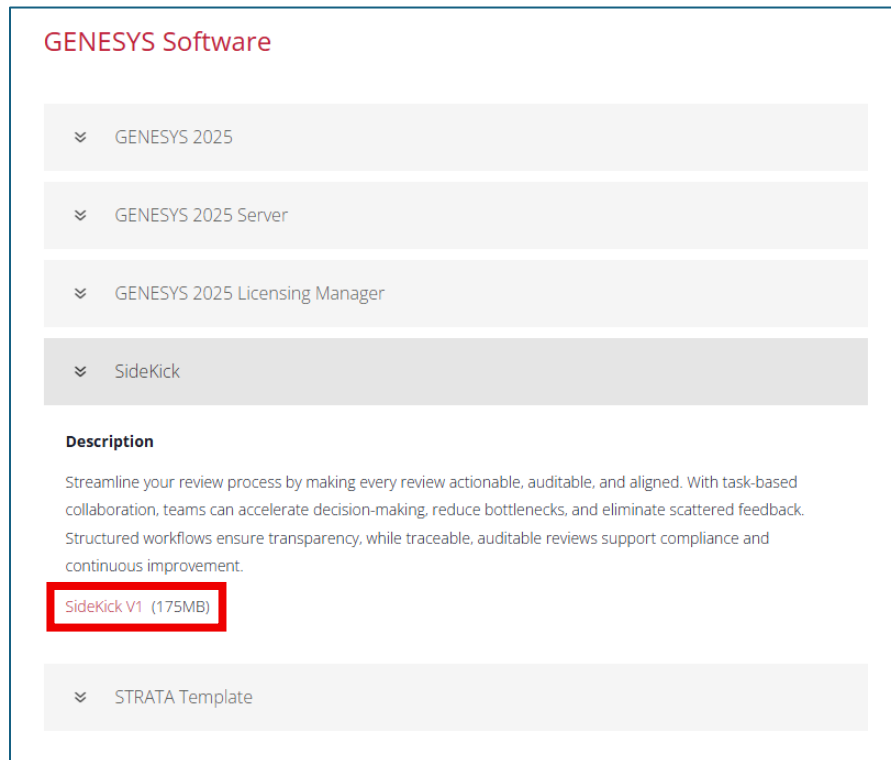
1. スタートメニュー > [Windows 管理ツール] > [インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー] を開きます。
2. [接続] パネルから(マシン名) > [サイト] を選択します。
3. “Default Web Site”サイトを選択し、削除します。



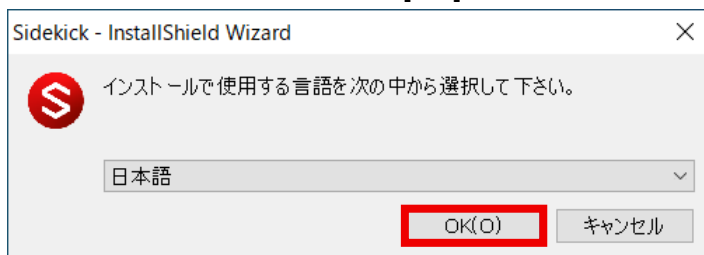
SIDEKICK アプリケーションインストール手順

SIDEKICK インストーラーの実行

1. Vitech Web サイト (<https://www.vitechcorp.com/software-downloads/>) から、SIDEKICK インストーラーをダウンロードします。

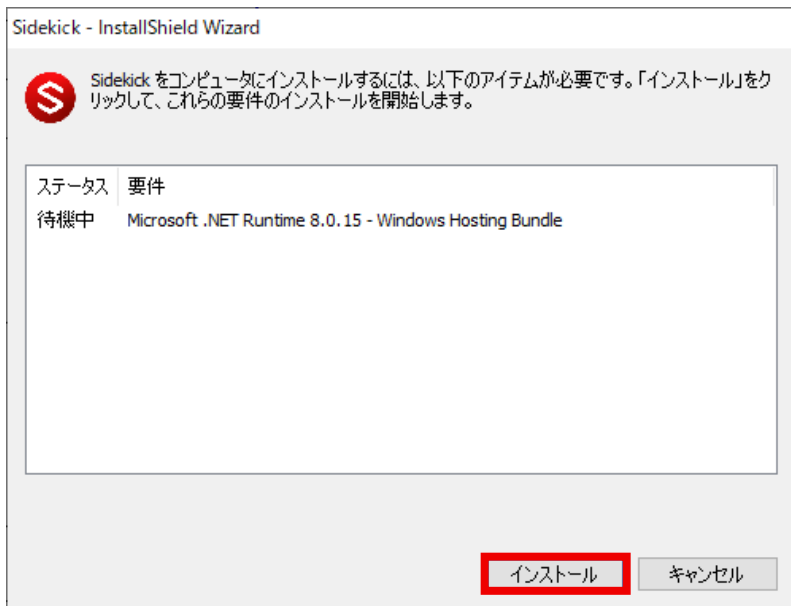


2. インストーラーを起動します。
3. インストーラーの言語を選択して[OK]をクリックします。

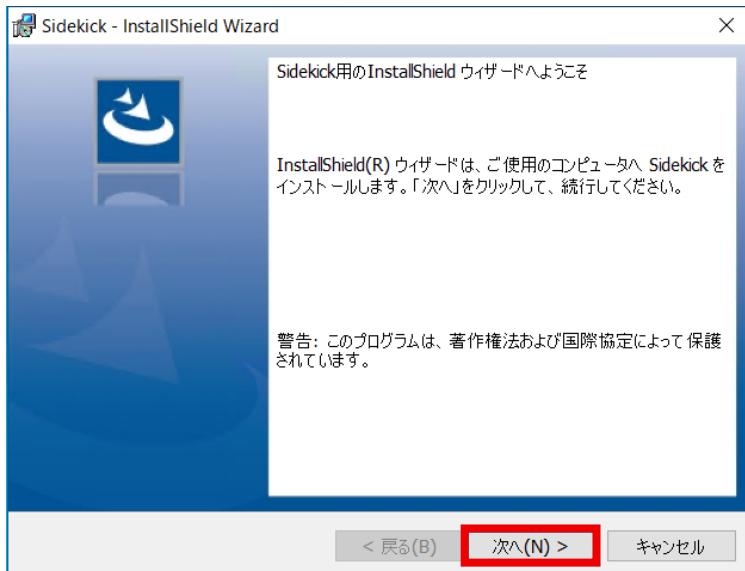


4. SIDEKICK の動作に必要なコンポーネントがない場合、そのインストールを促す画面が表示されます。[インストール]をクリックします。

※ .NET ホスティング バンドルが必要となります。マシンにインターネット接続がない場合はこちらの [手動インストール リンク](#) を使用してください。



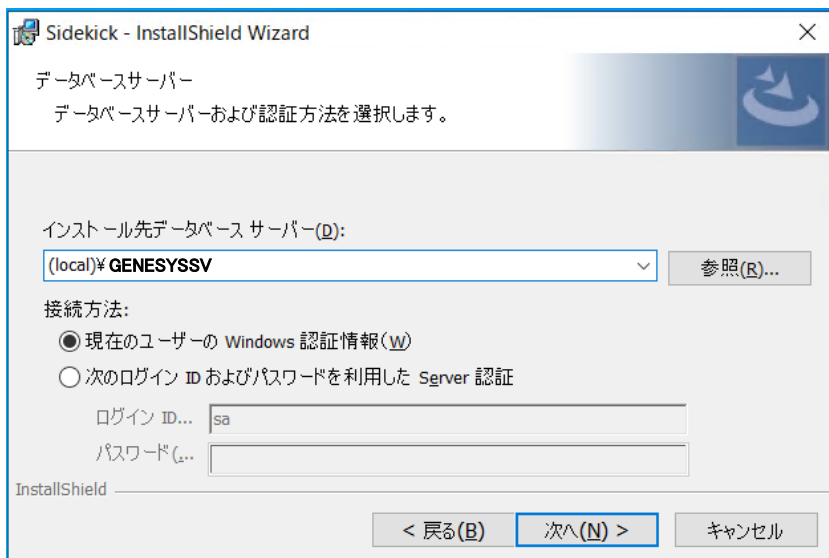
5. [次へ]をクリックします。



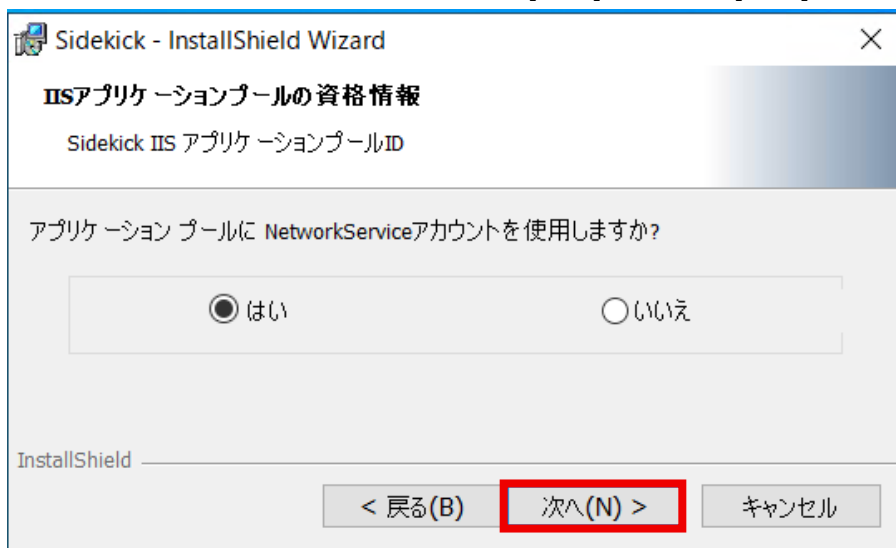
6. SIDEKICK の使用許諾契約を確認します。同意する場合は[...同意します]を選択して[次へ]をクリックします。



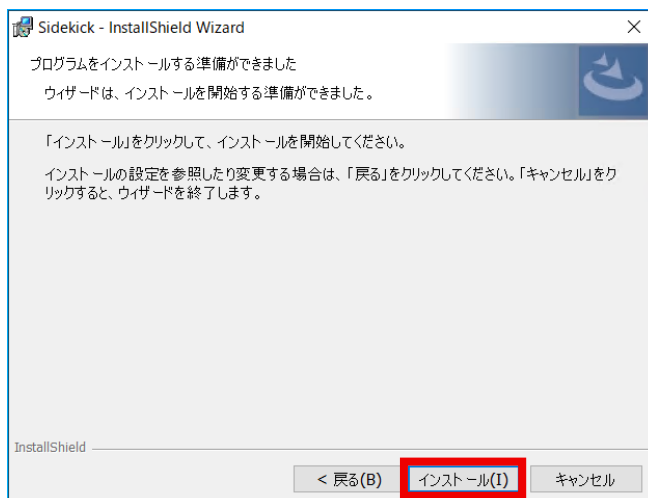
7. インストール先データベース サーバーおよび接続方法は、GENESYS Server 2025 でセットアップした SQL Server インスタンスおよびその接続方法を指定します。



8. IIS アプリケーションプールの資格情報は、[はい]を選択して[次へ]をクリックします。



9. [インストール]をクリックしてインストールを開始します。インストールが完了したら、[完了]をクリックします。

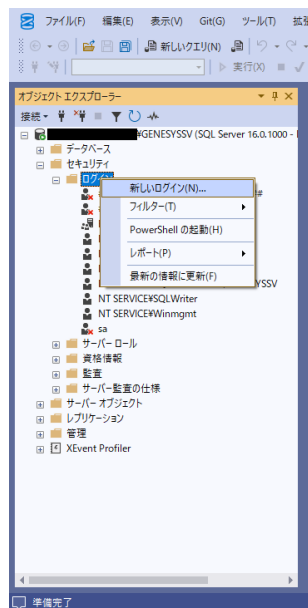


SQL Server へのアクセス権設定

1. スタートメニュー > [Microsoft SQL Server Tool **] > [Microsoft SQL Server Management Studio **] を開きます。(**にはツールのバージョン番号が表示されます)
2. [サーバー名]は SIDEKICK のインストール時に指定したデータベース サーバーを選択し、[サーバー証明書信頼する]にチェックを入れ、SQL Server に接続します。



3. [セキュリティ] > [ログイン]を右クリックし、[新しいログイン]を選択します。

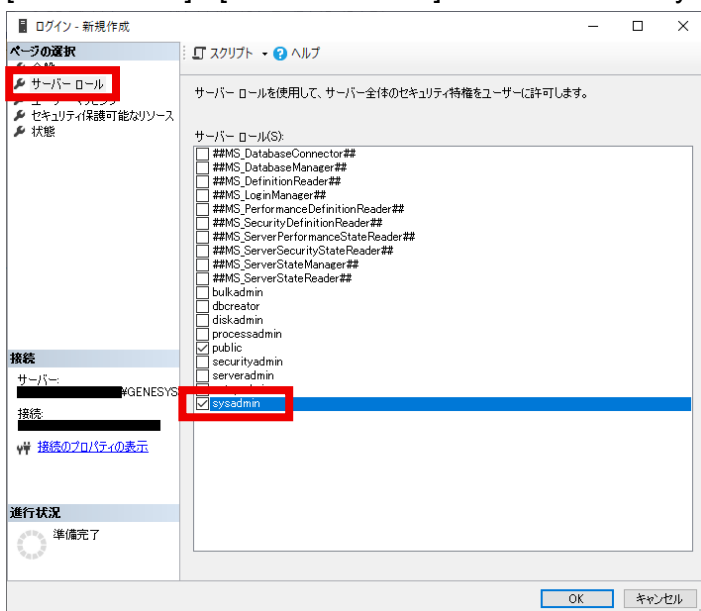


4. [ログイン名]入力欄の横にある[検索]ボタンをクリックします。

5. 検索ダイアログの入力欄に”NETWORK SERVICE”と入力し、[名前の確認]ボタンをクリックした後、[OK]ボタンをクリックします。
その後、[ログイン名]に”NT AUTHORITY\NETWORK SERVICE”が入力されていることを確認します。

※ マシンがドメインに参加していると、ドメインアカウントの認証が求められる場合があります。
“NETWORK SERVICE”はローカルアカウントのため、認証をキャンセルしても問題ありません。

6. [ページの選択]で[サーバー ロール]ページを表示し、“sysadmin”にチェックを入れます。



7. [OK]ボタンをクリックして、設定を完了します。

GENESYS/SIDEKICK のユーザー設定

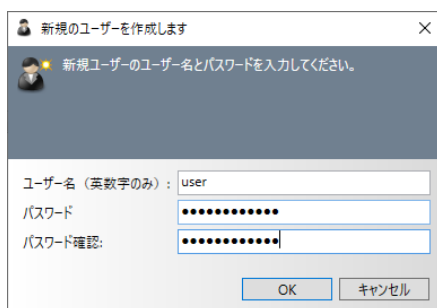
1. GENESYS Server 2025 を起動し、管理アカウントでログインします。



2. リボンメニューから[ユーティリティ] > [管理ツール]を選択します。



3. [ユーザー]タブに移動し、[新規ユーザー]から SIDEKICK を利用するユーザーを作成します。



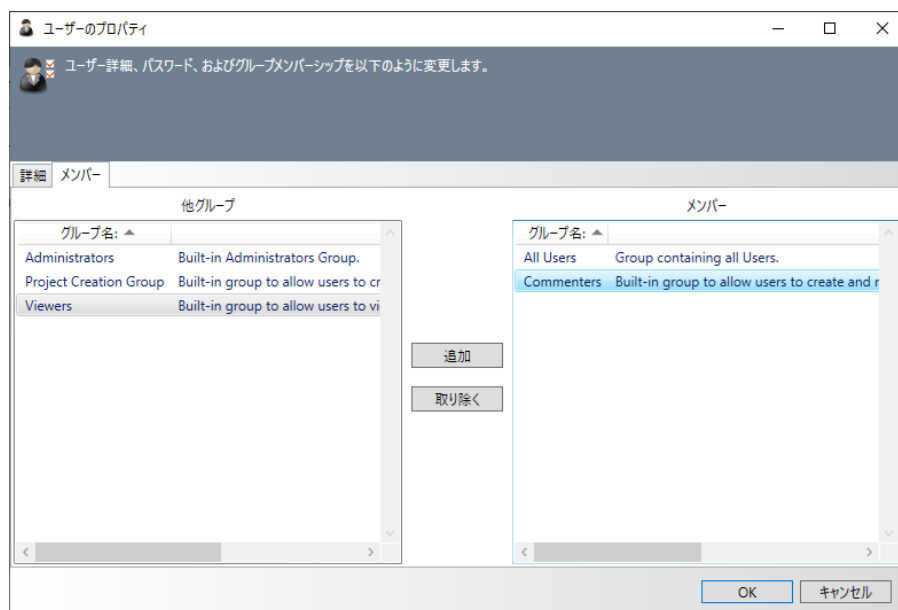
4. 作成したユーザーをダブルクリックし、[ユーザーのプロパティ]ダイアログを開きます。

5. [メンバー]タブで、SIDEKICK で使用するグループをユーザーに割り当てます。

- SIDEKICK は GENESYS に組み込まれている Commenters グループおよび Viewers グループを使用します。SIDEKICK ユーザーはこれらのいずれかのグループに所属する必要があります。
 - Commenters グループのユーザーは、割り当てられたレビュー対象にコメントができ、会話に参加できます。
 - Viewers グループのユーザーは、コンテンツにアクセスできますが、コメントや会話への参加はできません。
- SIDEKICK の管理者権限を付与するには、Commenters グループまたは Viewers グループに加えて Administrators グループに割り当ててください。

※ レビューの作成は、Administrators グループのユーザーのみが実行可能です。

※ GENESYS でユーザーを作成した後、SIDEKICK でタスクを割り当てる際にそのユーザーがアプリケーションに表示されるようにするには、事前に SIDEKICK への初回ログインを正常に行う必要があります。



SIDEKICK を使用するための GENESYS の設定

1. GENESYS Server 2025 を起動し、管理アカウントでログインします。
2. リボンメニューから[ユーティリティ] > [管理ツール]を選択します。
3. [REST API]タブを開きます。
4. [一般]セクションの[有効]オプションを”有効”に設定します。
5. [HTTPS/HTTP]セクションの[HTTP 無効]を”無効”に設定します。

The screenshot shows the '管理ツール' (Management Tools) window with the 'REST API' tab selected. The '一般' (General) section has the '有効' (Enabled) radio button selected. The 'HTTPS/HTTP' section has the 'HTTP 無効' (HTTP Disabled) radio button selected. The '適用' (Apply) button is visible at the bottom right.

管理ツール

GENESYSの動作方法をグローバルに変更します。項目はカテゴリに分かれているので、適切なタブを選択して変更してください。一部の変更にはGENESYSの再起動が必要です。

リポソリ Local (localhost)

プロジェクト ユーザー グループ セッション セキュリティ REST API OSLC

一般

有効: ☒ 有効 ☐ 無効

OAuthトークン有効期限: 30 (範囲: 1~9999分)

OAuthリフレッシュトークン有効期限: 24 (範囲: 1~9999時間)

Swagger有効: ☐ 有効 ☒ 無効

ローカルホストのみに応答: ☐ 有効 ☒ 無効

圧縮されたレスポンスを求める: ☐ 有効 ☒ 無効

HTTPS/HTTP

HTTPSポート: 8081 (範囲: 1~65535、HTTPポートとは異なる)

HTTPS証明書のサムプリント: (16進数で0または40文字)

HTTP無効: ☐ 有効 ☒ 無効

HTTPポート: 8080 (範囲: 1~65535、HTTPSポートとは異なる)

Swagger: 無効

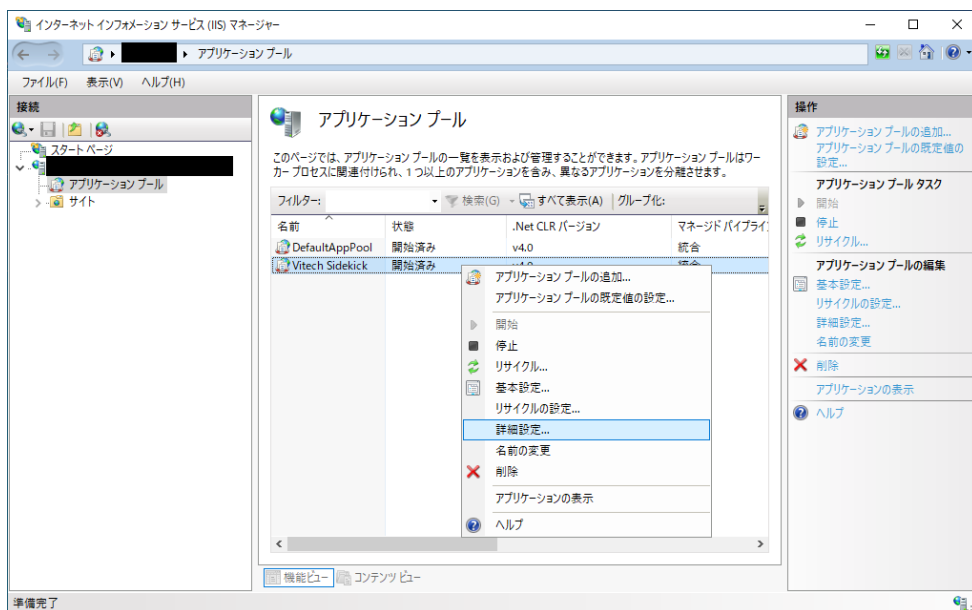
設定変更を適用すると、REST APIの処理が再開されます。

適用 廃棄

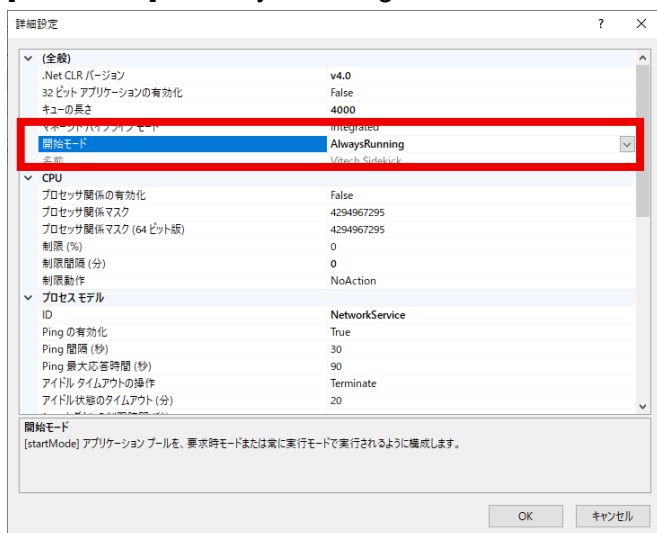
閉じる

推奨の IIS 設定

1. スタートメニュー > [Windows 管理ツール] > [インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー]を開きます。
2. [接続]パネルから(マシン名) > [アプリケーション プール]を選択します。
3. Vitech Sidekick アプリケーションプールの[詳細設定...]を開きます。



4. SIDEKICK は定期的なデータベース更新にサービスを利用するため、アプリケーション プールの [開始モード]を”AlwaysRunning”に設定します。



SIDEKICK へのアクセス

SIDEKICK にアクセスしたいマシンのブラウザを開き、アドレスバーに”https://(SIDEKICK をインストールしたマシンの IP アドレスまたはホスト名)”を入力すると、SIDEKICK にアクセスできます。

また、SIDEKICK をインストールしたマシン上では、スタートメニュー > [Vitech] > [Sidekick]を選択することで、デフォルトのブラウザで SIDEKICK にアクセスすることもできます。

注意点

1. SIDEKICK は GENESYS Server 2025 と連携して動作するように設計されているため、同じサーバーにインストールする必要があります。
2. SIDEKICK のデフォルト設定では、ホストマシンの信頼されたルートストアにインストールされた自己署名 HTTPS 証明書を使用するように設定されています。
3. 追加の SIDEKICK ドキュメントはスタートメニュー > [Vitech] > [ヘルプドキュメント]から参照できます。
 - a. [Sidekick]は localhost サイトへのリンクとなっています。
4. SIDEKICK は追加の設定なしで IP アドレスやホストマシンの FQDN を用いてリモートアクセスできますが、IT 部門を通して組織の TLS 証明書の作成・配布することが推奨されます。